

「人を思う心」は

まなざしの中に

や差別を視線の中に感じ、恐れている当事者は、「苦しい」「助けて」とさえ言えなのが現状です。

20年ほどの短い期間に阪神淡路、東日本、熊本、鳥取等での大震災、他の地域においても大規模な火災、豪雨により、数多くの人々が被害にありました。

災害で傷ついた人、苦しんでいる人、困っている人に心を寄せ、「自分にできることはないか」と、誰もが心の底からわき起せる思いを覚えたことでしょう。そしてその思いを支援金や義援金に託された人、ボランティア活動につなげた人も多いはずです。

支援者の人たちは、温かいまなざしで被災者の人たちに接し、被災者の人たちは、温かいまなざしで勇気づけられ、頑張る力が湧いてきただろうと思います。

生きづらさや、社会生活の困難さなどに苦しんでいる人たちがいます。私たちの「思い」や「行動力」は、生

活体験の中で、自分なりに築き上げてきた価値観にもとづいていることが多いと

思います。

価値観には、「フツウ」とか「当たり前」という固定観念も含まれています。こ

の固定観念が原因で、自分とは異なる「考え方」「姿」「事柄」が理解できず、また、理解しようとせず、予断、偏見、仲間はずしの行動へとつながっていくことがあります。それは行為だけではなく、冷たいまなざし（視線）として表れていること

があるかもしれません。

窓越しの春の日差しに横たわり福音たまわるように眼を閉じます。

ひのみね総合療育センター 関 政明

デビュー戦でベテランに勝つ将棋士は十四歳の新聞通とか

横須町 山崎 泰子

四月には孫も息子も新天地庭のさくら草いまを盛りに

田浦町 太田カツミ

新緑の山々となり見渡せば染まりし緑の空気がうまし

中田町 倉橋 正則

赤石町 田原トシ子

庭石に腰掛けおれば初燕巣作りの場所探しいるなり

足痛く歩く姿は川の辺を群れゆくアヒルの歩みのごとし

まつ白な小花に赤き実を秘めて日毎延びゆくいちごの命

法螺貝の鳴ればチリメン舟着いたとポンプ押し水を汲み上げたりき

市民文芸 花みずき歌壇 (33) 松並敦子・選

ピカピカの一年生を見習つて右手高々と横断歩道

横須町 福島 夢栄

2017年(平成29年)7月5日
安心・便利な口座振替をご利用ください。
広報こまつしま

市人権推進課(教育庁舎1階)

TEL 32-2122
FAX 33-3525

komatsushima.i.tokushima.jp